

0 S 0 浜 h a m 通 信

総会情報

6月26日市役所5階大会議室にて平成15年度通常総会が開かれました。本年度は理事、監事、支部長の役員、代議員合計63名の定数ですが、36名の方が出席され開催されました。危機管理対策室から島課長、納条係長、大山、柴崎事務局担当の各氏が出席され、島課長からご祝辞を頂きました。

議題は

- 1: 役員承認の件
- 2: 会員証発行の件
- 3: 14年度事業報告
- 4: 15年度事業計画
- 5: コンテスト支部対抗実施 (危機管理室長賞開設)

平成14年度事業報告

- 7月 3日 役員会 市役所5階大会議室
- 7月31日 総会 市役所5階大会議室
- 8月 7日 理事会
- 8月23~25日 防災フェアー 山下公園 都筑区支部担当
- 8月25日 オール横浜コンテスト
- 9月 1日 防災訓練 本部会場 磯子支部担当
- 10月31日 理事会
- 11月12日 理事会
- 12月18日 コンテスト表彰式 横浜防災センター
- 15年3月1日 会報創刊号発行
- 3月16日 第1回支部長会開催 十日市場地区センター

平成15年度事業計画

- 6月19日 理事会
- 6月26日 総会 市役所5階大会議室
- 8月 1日 会報2号発行
- 8月23~24日 防災フェアー 山下公園 鶴見区支部担当
- 8月31日 オール横浜コンテスト
- 9月 1日 防災訓練 本部会場 金沢支部担当
- 11月 コンテスト表彰式 横浜防災センター
- 16年2月28日 会報3号発行

会員証

事務局で、新形式の会員証の作成準備が進められていましたが、諸般の事情によりできなくなりました。会員証は、市の委嘱状に代えるものであり、また非常時に区役所に入る通行証でもあります。そして協会の発行義務であるので独自制作も考慮していますが、再度市に対し折衝を行うなど、早期発行に向けて懸命に検討を進めています。

15年度防災訓練のメイン会場は、金沢区で！！

本年9月1日に実施される横浜市主催の防災訓練メイン会場は金沢区で実施されることが決まりました。「JA1HQH 安田和彦金沢区支部長以下、支部会員の皆さんご苦労様です。編集部では第3号会報に、金沢区支部の活躍ぶりを特集でご紹介する予定です。ご期待を乞う。」

支部対抗に危機管理対策室長賞！！

第55回 オール横浜コンテスト

8月31日オール横浜コンテストが行われますが55回を記念して、本年より協会支部対抗部門が新設され、上位3位まで横浜市総務局危機管理対策室長賞が授与されることになりました。尚、地域クラブと支部対抗に重複参加は出来ないのでご注意下さい。

防災フェアー 本年は鶴見区支部が担当！！

横浜市とラジオ日本共催の本年度防災フェアーは8月23、24日に例年通り山下公園にて開催されます。協会の事業として本年も参加をしますが、中心となって活躍を下さる支部を募ったところ、堀川鶴見区支部長から担当したい旨発言があり、満場一致で御願ひすることになりました。当日はハムフェアーと重なっていますが、鶴見区以外の方々も、ぜひ足を運んで下さい。

会規約見直し

事業報告の質疑応答で、その他必要な会議として会規約に明記のない理事会、支部長会を開催しているが、会の運営上、会規約を現状に合わせ改定の必要があるのではとの意見がありました。議長は、会規約の見直し時期でもあり、この件は会長の責任で処理したいとの発言があり、満場一致で承認されました。総会後早速、あらゆる角度から会則の見直しを行い、次年度総会に提案すべく、西山会長より協会規約改定委員会の辞令が交付されました。座長に斎藤副会長、委員に佐野、宮川、宇田川各支部長が指名され、前記委員推薦による新委員3名を加え7名にて進められる予定です。

新役員の顔ぶれ

役員人事は、会規約第10条3項、理事定員を10名程度と増員する事に変更され、理事会提案通り承認されました。

会 長	西山藤一郎	JA1OBY	
副会長	森本 邦彦	JA1CGC	総務庶務担当
同	齋藤 文三	JR1NVW	広報会報担当
理 事	佐藤 勝廣	JA1GTZ	コンテスト担当
同	江成 晃	JM1NDC	支部長会担当
同	中澤 裕一	J11JUX	広報会報担当
同	片山 晋	JA1XLU	広報会報担当
同	渡辺 潤	JG1GQH	支部長会担当
同	林田 利夫	JE1VTL	支部長会担当
同	川端 正司	JF1XBQ	総務庶務担当
監 事	薄井 啓一	JA1JFT	
同	鈴木 政夫	JA1BOA	
顧 問	野村 五郎	JA1AX	
同	早川 勲	JA1BLN	

新しい人事が決まり、本部は理事会、支部長会を臨機応変に開催し諸事案を機敏に処理して行きたいと存じます。また広報からは会報、メール等を通して本部、支部の情報を迅速に送るつもりです。会員各位のご協力を御願ひいたします。

支部長会開催

左から栄区 宇田川支部長、西区 千石支部長、旭区 福田支部長代理、金沢区 安田支部長、都筑区 斉藤支部長、磯子区 片山支部長代理、緑区 江成支部長、泉区 川畑支部長、港南区 佐野支部長、神奈川区 安藤支部長、戸塚区 渡辺支部長



3月16日十日市場地区センターで第一回支部長会が開催され、11支部から参加された各支部長さんから熱心な意見が交わされました。冒頭支部長会開催の是非について、一部の支部から異論が出され、全体時間の半分以上を費し、重要議題は次回に持ち越された感がありました。協力会の役割は、当初の行政通信の補間から、現在は各区内の地域との通信に移り区単位の活動が中心になっています。このため支部間の情報交換は従来以上に大切になってきました。本来支部長と理事とで構成する役員会で意見交換すれば良いのですが、役員会の開催は会議場の確保と事務局立会などの制約があり、会議時間も短時間で、実のある会議が出来ませんでした。それが支部間の疎遠につながり支部間の格差を生じたとの反省から、身軽に開催できる支部長会が理事会で承認され

開催されました。大きな会議場での、会議とは違い、各支部長さんに親近感が増し大変有意義な会でした。各支部の牽引車でもあるリーダーの、白熱した意見を拝聴しアマチュア無線の地域への貢献を真剣に考えておられ参考になりました。討論の末、今後の支部長会の性格は、会長の求めに応じて審議したり答申したりするものではなく、親睦、意見交換、情報交換のみにするよう要望がありました。開催会場は各支部持ち回りとし、次回は神奈川区を開催地とし、7月27日13時より神奈川県サポートセンターで開催されることになりました。尚、6月26日の総会で、一部の支部から重ねて支部長会の開催反対意見が出たため、会規約見直しの予定もあるので当面は会の事業ではなく、会長召集による支部長会として随意開催にする事になりました。

緑区 新支部長 鈴木智夫さん JA1UVS



当、緑支部は旧緑区が1994年11月の行政区再編成により都筑区、青葉区、緑区と分割された際、都筑支部、青葉支部の新設と共に再編継続されました。このようないきさつから都筑支部、青葉支部は兄弟のようなもので、これからも協力し合っ

て行きたいと思っております。しかし、当緑支部の活動はアマチュア無線非常通信協力ボランティアが主体ということや近年における携帯電話の普及等に起因するアマチュア無線愛好家人口の減少等により各支部同様、若年層支部員の獲得に苦慮しております。

よって、緑支部の更なる活性化を図るためにはボランティア主体の活動を遵守しつつ新しいアイデアを少しずつ取り入れる必要があると考えております。

具体的な施策としては ①緑支部活動（非常通信訓練活動等）をPRすることにより区民に対する認識の高揚を図る。 ②ボランティア活動とレクリエーション活動を効果的にミックスすることにより支部活動の魅力度向上を図る。

③定期的なミーティング、ロールコール等の徹底による支部内組織の結束強化を図る。等が考えられます。私自身も仕事を持っていますが、時間の許す限り、協力会、緑区役所、近隣支部等との連携をとりながら、緑支部員と一体となり、この緑支部を今まで以上に元気のある支部に育てて行く所存であります。皆様方のご協力をよろしく御願います。（写真は、鈴木新支部長）

保土ヶ谷区新支部長 太田 稔さん JK1DRW

「地域住民や消防団と協力し合っ

て活動して行きたいと思っています」
とのコメントを頂きました。
保土ヶ谷支部の皆さん、新支部長の太田さんを支えて是非頑張ってください。

地域クラブ情報 鶴見区支部

JARL横浜鶴見クラブ

JA1YJY

会長 JA1JFT 薄井啓一（本部 監事）

会員 約15名 創立 約35年前

クラブはおよそ35年前JA1AI稲葉OMが中心になって設立されたそうです。当時皆さんは、中学、高校時代で、6m&ダウンコンテストは三ツ池公園で、フィールドデーコンテストは山中湖周辺で設立以来欠かさず毎年挑戦してきたそうです。本年の三ツ池公園移動は、夜間帯ちよっぴり涼しい感じでしたが、設営が終わると早速AC変調も掛かり、話上手な会長を中心に、大変な盛り上がりでした。今年は、約10人程のメンバー参加で6mオンリー。21時きっかりに早速コンテスト開始、マイクを握る人、パソコンに打ち込む人、連携はピッタリでした。さて、既報の通り本年の防災フェア中心支部は鶴見支部が引き受けて下さることになりました。



←写真左、堀川支部長
写真下、左、薄井会長



支部活動情報



中区支部

中区支部は、しばらくの間活動を休止しておりましたが、2001年10月から活動を再開しました。再開開始から毎月第一土曜日の21時から会員相互のオンエアミーティングを145、20MHzで行っております。2002年9月1日に行われた中区の防災訓練にも参加しました。今後は、会員数が少ないので会員を増やして体制を整え、活躍したいと思っています。

中区支部 支部長 J E I E S N 佐藤 通雄

港北区支部

港北支部は、現在の会員数43名（他に4名の入会予定者あり）で活動を行っています。現在の会員はいずれも支部活動に一同となって積極的に参加し、運営を行っています。

一昨年より港北区内28ヶ所の小中学校に設けられている「震災時避難場所」にアマチュア無線機器一式（無線機・ANT・同軸ケーブル・電圧・伸縮ポール等）が配置され、区役所本部との通信がより確かなものとなりました。

以上の設備拡充に伴い、港北支部は以下のような活動を主に行っています。

- ① 9月1日「港北区総合防災訓練」参加協力。
 - ・ 行政機関（区役所・消防・水道局）及び各地元町内会が参加し、区役所本部と各避難場所との配備機器を使用した情報受伝達訓練。
- ② 各地域避難場所独自に行われる「地域防災訓練」への参加協力。
 - ・ 地元運営委員会から区役所担当者への派遣要請を受け、区役所と支部で調整を行い、参加しています。（今年度は、①以外に19ヶ所に参加）
 - ・ 訓練会場では、地元住民に対して「情報受伝達通信」のデモ、設備の取扱い説明、アマチュア無線資格所有者等への協力会参加の勧誘。
- ③ 他に区役所担当者と常に連絡を取り合い、災害発生時に行政との円滑な活動が行えるよう努力しています。

今後の課題としては、「地域避難場所」に対して現在の会員数では不足しており、なおかつ、現会員の担当地域（居住地域）に偏りがあるため、今後、各地域に最低5～6名の会員を配置できるよう、名前だけの幽霊会員ではない、積極的に協力をしてくれる人材を募集していきたいと努力しています。

港北区支部 支部長 J M 1 B P G 浅利信蔵

港南区支部

- 2002年4月～2002年12月
1. 2002年度 港南区地域防災訓練参加
2002/8/31～2002/11/16
音声、SSTV通信訓練実施
各避難拠点の備蓄倉庫に常備のアンテナ
セットの確認
全訓練拠点に参加 31拠点
参加支部員数 59局
延べ参加支部員数 124局
SSTV訓練実施拠点 22拠点
 2. 2002年度 港南区区民まつりに参加
2002/10/27
音声、SSTV通信訓練実施
市、危機管理室所有の防災関係パネルの展示

- 港南区避難拠点地区の配布
- 20局参加
 3. 港南区支部 SSTV勉強会実施
2002/5/1
20局参加
 4. J R 1 Y W I 指定事項変更
F 2, F 5を追加 144, 430,
1200Mhz
 5. 支部ホームページ運用開始
2002/8/11
支部員間の情報の共有

港南区支部 支部長 J A 3 C B S 佐野 和義

金沢区支部

本年度総会にて下記のように役員が決まりました。今まで活動が停滞していましたが、新役員少しでも前に進ませようと思いますのでご支援、ご指導宜しくお願いいたします。

- | | | |
|-----|---------------|---------|
| 支部長 | 安田和彦 (JA1HQH) | 「涉外も兼務」 |
| 会計 | 田島康夫 (JJ1SDJ) | |
| 監査 | 綾部 正 (JK1JTA) | |
| 広報 | 金子 肇 (JJ1BOG) | |
| 涉外 | 日暮正夫 (JA1SAP) | 「副支部長」 |
| 総務 | 山崎和美 (JF1XGH) | |

金沢区 支部長 J A 1 H Q H 安田和彦

都筑区支部

都筑区支部は、平成6年発足以来一貫して区役所と避難所との非常通信網の確立に勤めてきました。ハード的には1200MHzハンデ一機、八木アンテナ、同軸、ポール、三脚等一式および145/430MHz用のGP、同軸、DC電源を各防災拠点の備蓄庫に配備しました。

これにより、災害時最低限1200MHzでの交信が出来、会員持参の無線機を利用しても交信が出来るようになってきました。区役所には145/430/1200MHz専用機各2台あり、3波同時に交信出来るようにしてあります。尚、25カ所の各防災拠点は、全てクラブ局となっていて、会員全てが構成員であるため、局免許が無くとも運用が出来るようにしてあります。訓練は、防災拠点毎の訓練が実施された場合、拠点責任者を中心に数名単位で参加しています。防災拠点運営委員他関係者にアマチュア無線を理解していただくためのパンフレットを作成しました。

通信費は、総会や訓練時の全員に通知する年数回の郵便物は、区役所に負担していただいておりますが、その他の連絡費用として、会員からも通信費年600円納入していただいております。また、9/1に実施される区主催の総合防災訓練には、出来るだけ多くの参加を目指して会員全員に文書にて通知しています。参加率は30から40%です。なお、当日は25箇所の防災拠点にて訓練を兼ねて無線機の一斉点検、を実施しています。会員の交信術訓練のため、区内の中央公園にて3ヶ月毎移動運用、他にも地域クラブと共催で野外運用を年一回実施しています。親睦を深めるため、総会、訓練終了後懇親会を、また忘年会を実施しています。区と支部が密接な連携がとれるよう、協定を結び都筑区災害対策連絡協議会の委員にもなっています。災害時会員が混乱しないように、災害時行動基準というマニュアルも作りしました。現在会員数は約120名ですが、災害時にはその一部の会員しか参加出来ないものと推定しています。従って、各拠点に数名づつ派遣出来るよう約200名の会員登録を目指して頑張っています。会員獲得は、都筑区広報に掲載していただいたり、募集用チラシを区役所においてもらったり、区役所からの資金応援を得て講習会を開催したり、JARL会員名簿より都筑区在住者をピックアップ入会案内書送付もしました。その他イベント毎に新聞社やタウンページに記事として取り上げてもらい、協力会の知名度アップに向けて地道に努力しています。

都筑区 支部長 J R 1 N V W 斉藤文三

横浜市アマチュア無線非常通信協会の設立経緯・年表

副会長 森本邦彦 JA1CGC 寄稿

昭和27年アマチュア無線再開以降「横浜クラブ」は神奈川県非常通信協議会に加盟年1回の訓練に参加していた。

昭和46年4月1日 飛鳥田横浜市長より、災害時に於けるアマチュア無線家の協力依頼が、文書により横浜クラブ（JA1BZ）林会長宛てに届く。

前年ロス・アンジェルスに大地震が発生し横浜市職員を派遣、現地にてアマチュア無線家による非常通信が有効との報告を受け、JARLに問い合わせ横浜を代表する横浜クラブに依頼する。横浜クラブは依頼を受けたが、担当窓口が判明せず対応に困惑する。

横浜市には、災害時に即応する危機管理体制が十分になく、市長は消防局に災害対策を指示。

昭和46年6月1日 横浜市役所 総務局に災害対策室発足、災害対策室長より横浜クラブ会長宛てに再度協力要請文書が届く。

横浜クラブ役員数名が災害対策室との協力方法を数回にわたり協議する。

消防局は、違法無線局（CB）団体と災害時の協力を話し合っていたので、横浜クラブは再三抗議し協定の締結を阻止した。

9月26日（日）午前11時より レストラン ハングリータイガー 関内店内にて、第1回 非常災害時のアマチュア無線家による協力会議を開催する。

横浜市内14区に、区単位に支部設立準備をする。既存の地域クラブ、または代表的な組織に支部の設立を依頼する。

当日参加された代表者

横浜西クラブ	JH1ADL	大竹道郎
横浜保土ヶ谷クラブ	JA1XEA	木村猛
瀬谷クラブ	JA1IZ	竹内正弘
希望が丘クラブ	JA1DSJ	水落孝一
鶴見クラブ	JA1OHC	村井忠憲
横浜南クラブ	JA1KNL	宮田幸一
金沢クラブ	JA1RGL	石崎栄一
元町クラブ	JH1BUO	小暮明
戸塚ペンギンクラブ	JH1ADZ	浅沼志満男

神奈川まんなかクラブ
グリーンクラブ JA1CGB 犬塚

クレイジークラブ JA1CYC

神歯ハムクラブ JH1JZL

ボーイスカウト横浜 JH1JZM

関学ハム部 JH1RXJ

地域クラブが存在しない区は、横浜クラブが中心となり支部設立の準備をする。

神奈川クラブ・旭クラブ・磯子クラブの設立に協力する。

区内の局全員に趣意書を送付、参加を依頼。

12月 14区に代表地域クラブ設立完了 第1回地域クラブ代表者会議を開催。

非常災害発生時のアマチュア無線の協力体制を検討する。

数回代表者会議を開催 名称「横浜市アマチュア無線非常通信協会」に決定横浜市役所を本部とし市役所クラブ及び横浜クラブが担当する。

地域クラブは、区を代表し支部と称す。

昭和47年4月25日「横浜市アマチュア無線非常通信協会」発足、保土ヶ谷公会堂にて約200名が参加、会長に横浜クラブ会長 林一太郎氏（JA1BZ）就任、本部理事は、横浜クラブ及び市役所クラブの役員が就任した。

4月20日市役所にて横浜市長飛鳥田一雄 横浜市アマチュア無線非常通信協会会長林一太郎により協定を締結する。

これにより災害時に協力し被害を被った場合の補償関係が成立する。会員証の発行と市長より会員に委嘱状発行。

協会設立準備にかかわる全ての経費は、横浜クラブ会員の会費でまかなわれた。

第2回総会開催49年6月23日午後2時より磯子区公会堂で開催

昭和49年各区役所にクラブ局開局（144MHz帯無線機アンテナ完備区役所総務課に設置）

昭和50年8月会員名簿発行

昭和61年栄区支部、泉区支部発足

平成4年 林一太郎（JA1BZ）会長死去により副会長西山藤一郎氏（JA1OBY）会長に就任。

平成6年3月 無線機整備完了、新区も区役所完成と共に無線機整備完了 会報会員名簿発行

平成6年12月都筑区支部、青葉区支部発足し18支部となる。

平成7年8月 無線機整備完了、新区も区役所完成と共に無線機整備完了。

現況報告 支部長 会員数 H15.06.24現在

鶴見区	JH1SUM	堀川 勝次	38名
神奈川区	JF1BNA	安藤 和男	49名
西区	JA1ALN	千石 明	31名
中区	JE1ESN	佐藤 通雄	15名
南区	JJ1AKB	山田 幸一	65名
港南区	JA3CBS	佐野 和義	114名
保土ヶ谷区	JK1DRM	太田 稔	25名
旭区	JA1SKY	宮本 尚	77名
磯子区	JO1EKF	安池 清	34名
金沢区	JA1HQH	安田 和彦	28名
港北区	JM1BPG	浅利 信蔵	45名
都筑区	JR1NVW	斉藤 文三	120名
緑区	JA1UVS	鈴木 智夫	44名
青葉区	JK1MVR	塚 一男	31名
戸塚区	JG1GQH	渡辺 潤	43名
栄区	JG1UAE	宇田川 淳	26名
泉区	JF1XBQ	川畑 正司	35名
瀬谷区	JR1VYW	小島 陽	28名
			合計848名

編集後記

会員の皆様、暑中お見舞い申し上げます。

総会で、会議の詳細などの情報を優先せよとの要望がありました。出来るだけ多くの情報をお伝えしようと思います。お気づきの所がありましたらどしどしお知らせ下さい。

さて、創刊号は各支部長に1部ずつ配布し、それをコピーし各支部会員に配布していただきました。2号は広告収入にて全会員約850名分を一括印刷して配布する予定でしたが、総会において広告掲載に関して一部の反対意見がありました。協会の活性化の為に会報発行の重要性は大きいと思います。そして長期継続のために発行経費の捻出は今後の大きな課題であり、当面はいろいろと模索し、より良い形にしていきたいと考えています。さて、会の主たる協力である避難所の通信に関わる人数を計算してみました。仮に、1避難所で非常通信を実施する場合、1日2名で3交代したとして、3日間で延べ18名が必要です。1区で避難所25カ所として延べ人数約450名、市内18区でなんと8000名強の延べ人数になりました。もちろん、各地からの応援もあるでしょうが、大変な協力体制となりそうです。



左から中澤、斉藤、片山、丸山の編集委員、2号が編集終了しホットしています。